



爽やかな秋の季節となつてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調管理には十分お気を付けたいと思います。私は現在、徳島市議会で**文教厚生委員会委員長、子育て・健康長寿特別委員会委員長、議会運営委員会委員**を務めさせていただいておりますが、この間、私の様々な取り組みや議員活動に対して、ご支援・ご協力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

先般の9月定例議会本会議において「公立保育所の開所時間延長」「児童館の職員体制強化」「イオンモール徳島開店に伴う影響」「阿波おどり事業」などの7項目に絞って、会派（朋友会5人）を代表して質問をいたしました。（詳細は次頁）



また、私が紹介議員となつて提出していましたが「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める請願」については、全会一致で採択、意見書を可決することができました。

まだまだ厳しい社会・経済情勢が続くと思いますが、「希望と安心のまちづくり」に向け、そして、市民の福祉の向上と皆様の思いを市政に届けるため、一生懸命がんばっていききたいと思います。

引き続きのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

2017年9月議会 代表質問 (9月13日)

公立保育所における 開所時間延長について

【加村】 徳島市における待機児童と開所時間、入所児童の現状は。短い開所時間では子どもを預けることができない多くの働く保護者の声に応え、開所時間を延長すべきでは。

【保健福祉部長】 4月1日現在、待機児童は1歳児35人、3歳児3人の計38人。開所時間は8時～17時30分まで8か所、7時30分～18時まで8か所、7時30分～19時までが11か所。

定員割れ保育所は16か所。開所時間を延長するためには、受け入れ体制の整備等も必要となるが、それぞれの保育所の入所状況、預かることのできる子どもの年齢、保護者のニーズなどもふまえ、検討を進めて参りたい。

【市長】 私は本市の将来を担う子どもを安心して産み、育てることができる環境づくりに全力を注ぎ、誰もが安心して快適に暮らせる町を目指している。開所時間延長についても、前向きに検討を進め、できる限り早期に保護者の方々が子どもを預けやすい環境づくりができるよう取り組んで参りたい。

児童館の職員体制について

【加村】 児童館ごとの利用状況と職員数は。利用者の多い館への対応策を。

【保健福祉部長】 28年度一年間の延べ利用者数。最多で約24,000人、最小約6,500人、全体の平均約12,000人。職員配置は、厚労省の児童館設置要綱に基づき、館長1名、児童厚生員2名の合計3名。利用者の多い児童館への対応策については、これまでも厚労省の通知に基づく職員配置をし、地域での重要な子育て支援施設として運営を行ってきた。時期、時間帯によって利用児童数が大きく変わる場合もあるが、恒常的に多い館については、状況も見極めながら適切な対応がとれるよう検討して参りたい。



イオンモール徳島開店に伴う 影響について

【加村】 イオン開店以降の中心商店街や周辺事業所への影響をどのように把握するのか。

【経済部長】 イオンモール徳島が開店してから半年が経過する10月から、中心商店街や周辺事業所等において、徳島商工会議所と連携し、開店に伴う影響調査を実施する。概要は、約20団体の中心商店街の理事長などをはじめ、イオン周辺の涓東・沖洲地区等の小売業・飲食業の約400事業所を対象に10月中旬のアンケート調査を実施。また、イオンに来店したお客を対象に10月下旬の平日と11月上旬の日曜の2日間、1日500人、合計1,000人に聞き取り調査を行う。これらの調査により、大型店舗出店による中心商店街等への影響を把握し、本市の今後の取り組みの参考として参りたい。

イオンモール徳島開店に伴う 交通局のこれまでの取り組みは

【加村】 渋滞対策と市営バスの利用状況は。イオンモール敷地内へのバスの乗り入れ検討を。

【交通局長】 アクセス便導入の経緯として、イオンモール徳島から昨年1月に渋滞緩和対策の一環として公共交通機関にも協力してもらいたい旨の要望があった。交通局が最大限の協力をすることで、交通渋滞緩和に寄与するとともに、大型商業施設へのアクセス強化による市民サービスの向上が図れると判断し、対応策について

検討。運行路線や運行本数などについて、関係機関や地元団体と協議を重ねてきた。その結果、イオンへのアクセス便として既存路線の「東部循環線」15便の他、平日は隣接路線「南海フェリー線」42便のうち、往路5便、復路5便をイオン経由に変更。利用者が多く見込まれる週末の土・日・祝日は「東部循環線」15便に加え、徳島駅前とイオンを結ぶアクセス便を新たに往復で42便運行することとし、バスの利便性の向上を図った。

また、バス利用状況は、イオン最寄り停留所「南末広町中・イオンモール前」の乗降者数を開店前と、6月から8月の直近3ヶ月間の平均比較では、開店前1日の乗降者数が約45人であったのに対し、開店後には平日で360人と約8倍、土・日・祝日では720人、約16倍に増加した。月単位では、開業前の約1,300人から、開業後では平均14,300人と約11倍に増加。渋滞緩和の効果と運行状況については、イオン開店直後においては一部の便で大幅な遅れが生じたが、その後は大きなダイヤの乱れもなく、渋滞による路線バスへの特別な影響もなく、市営バスとしては、イオン周辺地域の交通渋滞緩和に貢献しつつ、運行ダイヤについても概ね順調な状況が確保できていると考えている。

次に、イオン敷地内乗り入れについては、現在のところ路線バスの運行に支障が出るような渋滞もなく、敷地内に乗り入れたとしても運行の定時制は確保できるのではないかと考えている。また、議員ご指摘のとおり、敷地内には既にバスベイや待合のための上屋が整備されているなど、バス乗り入れの環境も整っていること



から、バス利用者の利便性が大きく向上するものであると考えている。これまでの周辺の道路交通状況なども踏まえ、現在イオンと路線バスの敷地内乗り入れについて検討を始めているところであり、今後、関係機関とも具体的な協議を進めていきたいと考えている。

徳島市夜間休日急病診療所について

【加村】 当診療所の直近の利用者数、市外からの利用者数、管理運営形態は。指定管理者の募集方法及び診療時間の見直しについて。

【保健福祉部長】 28年度の利用者数は、内科・小児科合わせて17,324人。利用者のうち徳島市以外の受診者は5,959人で、全体の約34%を占めている。小児科は、11,479人の利用者で、うち本市以外の方は4,544人で、約40%となっている。内科・小児科を合わせた利用者数は、現在のふれあい健康館に移転した平成13年と比較して、約1.5倍以上に増加している。

管理運営形態は、昭和45年の開設当初から徳島市医師会の協力により運営しており、平成18年度から指定管理者制度を導入して以降も引き続き、徳島市医師会を指定管理者として、施設の管理運営を行っている。これまでの公募において、徳島市医師会以外の団体からの申請はなかった。

今後も専門的で質の高いサービスを安定的に供給していくためには、現行の公募による指定管理者の選考方法の見直しも含めて検討し、長期的な視点に立った施設運営を実施していきたいと考えている。

また、休日昼間の診療時間帯については、原則として内科と小児科の医師が1名ずつ、午前9時から午後5時まで診療に従事しているが、今後も医療スタッフを安定的・継続的に確保していくため、昼食時間も確保できないことがないように診療時間の見直し等の措置も検討していく必要があると考えている。



「歩き遍路休憩小屋」の設置について

【加村】歩き遍路の支援として、休憩小屋の設置について、どう取り組んでいくのか。

【経済部長】四国88か所霊場と遍路は、世界遺産の登録を目指して、四国を挙げて取り組んでいるところであり、本市の観光資源としても大きな要素を占めている。その中で、歩き遍路は88すべての霊場を廻り終えて結願した時の達成感が大きく、またお接待などで知らない人との出会いや人の温かさを感じることができることから、人気があると聞いている。一方で、歩き遍路は体力的に負担も大きいことから、次の札所までの距離が長い場合などには、途中で休憩小屋があることが、歩き遍路をしている方の負担を軽減されることが期待できる。本市としては、休憩小屋の確保に向けた環境づくりが進む



よう、コンビニエンスストア等と協議を行うなど、検討を進めているところである。今後とも、地域に根付いたお接待の生活文化を絶やすことなく、様々な皆様のご協力を求めながら取り組んで参りたい。

阿波おどり事業について

【加村】累積赤字（4億3,600万円）の解消に向けた協議会の設置に対する市長の考え方は。

【市長】阿波おどりは、400年の歴史がある世界に誇る伝統芸能であり、本市にとって大きな経済効果のある重要な観光資源である。そのような阿波おどり事業に多額の累積赤字があることについては、市民の皆様にご心配をかけており、本市としてその解消に向けて、最大限の努力をしていかなければならないと考えている。阿波おどり事業は、徳島市観光協会及び徳島新聞社が主催をしており、同事業の累積赤字を解消す

るためには、両団体と連携して取り組むことが不可欠であることから、両団体に対して既に、累積赤字の解消に向けた協力をお願いしているところである。今後、三者で協議会を設置していくなかで、外部の専門家の知見も得ながら、阿波おどり事業に係る収入・支出の内容や契約方法のあり方、運営方法の改善策などについて、しっかりと調査・検討を行っていきたいと考えている。協議会での検討結果を踏まえ、累積赤字の解消に向けた方策について、来年度の阿波おどりに反映できるものから、積極的に取り組んで参りたい。今後とも、本市が世界に誇る阿波おどりを始め、徳島ならではの魅力発信や国内外からの観光客の誘致にしっかりと取り組んで行きたい。



加村ゆうじ代表質問まとめ（最終見解）

20ヶ所ある児童館の利用者数は、立地条件等の関係もあるとは思いますが、約4倍も違うなかで、職員体制は全ての館が最低基準の3名では問題があり、利用人数の多い所については職員を増やすべきであると考えます。確かに、時期や時間帯によって利用児童数が変わる場合もあるとは思いますが、子ども達が事故なく、安全に安心して利用ができる子育て支援施設として運営ができる体制作りを早期に検討していただけるよう要望しておきます。

次に、イオンモール徳島開店に伴う影響について、10月から徳島商工会議所と連携し、影響調査を実施するとのことでありました。大型店舗出店による中心商店街等への影響を把握することは、本市の今後の様々な取り組みを行っていくために大変参考になると考えますので、しっかりと調査を実施して頂きたいと思えます。

次に、交通局によるイオンモール徳島へのアクセス便の導入、増便運行で利用者が大きく増



えたことや、交通渋滞緩和にも貢献されている現在の状況を是非とも持続していけるよう取り組んで行っていただきたいと思えます。また、イオンモール敷地内へのバスの乗り入れについては、すでに協議を検討されているようですが、高齢者や体の不自由な方等にとっては、店舗までの移動やバスを待つ間の時間はかなり厳しいものがあると思えますし、バス利用者にとっての利便性が大きく向上すると考えますので、できる限り早期に実現できるよう関係機関と協議、取り組んでいただけるよう、要望しておきます。

次に、**徳島市夜間休日急病診療所**については、平成28年度で内科・小児科あわせて17,324人が利用され、その内、5,959人が市外からの利用で、とくに、小児科の利用が多く、平成13年度と比較して利用者数は1.5倍以上増加しております。また、指定管理者の募集方法については、制度導入以来、これまでの公募において市医師会以外の団体から申請がない中で、高松市など他都市でも非公募が多い状況のようでもありますので、指定管理者の選定方法の見直しも検討していただきたいと思えます。また、休日昼間の診療時間午前9時～午後5時についても、運用で対応できるのではと考えます。例えば、午前の診療時間9時～12時、昼休憩を1時間、午後の診療は午後1時～5時までとし、ただし受付は常時行うとともに、急病者が来られた時には即座に対応していくという形にすれば、運用変更が可能ではないでしょうか。変更前には、市政日より等でしっかりと広報していけば市民の理解は得られると考えます。ぜひ、ご検討いただき

たいと思えます。

次に、**歩き遍路をされる方への休憩所**について、コンビニの駐車場を活用して休憩所用地を確保する方策を含め、休憩所の整備に向けた取り組みを検討していただいているとのことでありました。是非とも進めていただきたいと思えます。四国八十八カ所霊場と遍路は、世界遺産の登録を目指しており、本市の観光資源としても、大きな要素を占めております。本市において、歩き遍路休憩小屋の第1号が設置できれば、県内各札所周辺にも広がりを見せ、四国全体にも波及していくのではないかと考えます。県内外に向けて、いいアピールができると思えますので、取り組みを進めていただけるよう要望しておきます。

次に、**公立保育所の開所時間の延長**については、様々な状況をふまえて検討を進めていくこととありますが、子どもを預けようとする保護者にとっては、すぐにでも対応してもらいたい課題であります。ただ、そうは言ってみても、例年であれば11月には新年度の入所申し込みが始まりますし、保育士の確保ができるのか、子どもを安全に預かるための体制をしっかりと確保することも必要となってきます。あまり時間がない中で、現在、開所時間が短い全ての保育所について対応を図ることは難しいと私も思います。それぞれの保育所の入所状況、預かることができる子どもの年齢、保護者のニーズなどもふまえて検討されるということなので、現場の保育所とも協議をしていただき、まずは1ヶ所だけでも延長できるようにしていただきたいと思えます。例えば、現在、開所時間が8時～17時30分までとなっている公立保育所については、朝を30分早め、夕方を30分遅くするだけでも、子どもを預けようとする保護者にとっては、大変助かるのではないかと考えます。是非、ご検討いただけるよう強く要望いたします。





県病院局労組中央病院支部定期総会
(2016.11.4 県立中央病院)



徳島中央公園で「藤棚」の剪定奉仕
(2016.11.6)



後援会総会
(2016.12.18 阿波観光ホテル)



上八万地区成人式
(1.8 上八万コミセン)

徳島市政発展のため、
皆さまのご意見ご要望を
お聞かせください



障害者支援施設でもちつき大会 (1.14)



食とみどり水を守る県民会議主催
アジア、アフリカ救援米の田植え
(6.3 応神町)



第10回県職連合まつり
(5.27 アスティとくしま)



第88回徳島中央メーデー (5.1)



第39回西日本軟式野球大会で
県軟連徳島支部長として始球式
(6.10 JAバンク徳島スタジアム)



上八万スクラム学級ふれあい教室で
講演 (6.29 上八万コミセン)



阿波おどりゴミ分別収集ボランティア
(8.12 両国・愛媛銀行前)



上八万地区敬老会
(9.17 上八万コミセン)